

令和7年度 第1回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月16日（金） 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 CS ルーム
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、村松 幸男、清水 淳子、伊藤 文雄、
渡邊 明日香、藤原 四郎、鈴木 里佳
- 4 欠席委員 石野 和彦、河口 神奈
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也、鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学 校 戸嶋 秀樹（校長）、倉田 智幸（教頭）、徳井 雅子（主幹）、大軒 亘
（CS 担当教職員）、片山 里紗（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 片山 里紗
- 9 **会長の選出及び副会長の指名**

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、藤原委員から伊藤雅文委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された伊藤委員から、佐々木委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出について

議長の選出について、藤原委員から、鈴木委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会から委員総数10人のうち8人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、別紙資料に基づき、浜松市学校運営協議会規則、同自己評価実施要項について説明があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、学校運営基本方針について説明があった。

以下のとおり、委員から様々な意見があった。

- ◆学年担任の考えは、子供たちにとっても良いだろう。他者から褒められることで自分を認めることができ、自己肯定の力がつけば、心を病んだりすることも少なくなるのではないか。（佐々木副会長）

- ◆ボランティア活動へ保護者の参加が可能になれば、家庭や地域との連携ができるのではないかと。学年担任の考えは、子供にとっても良いと感じる。
子供会がなくなり、地域での交流がさらに少なくなっているため、たてわり活動のメンバー決めの際、居住地域が近い子供同士で組むことができれば、地域のつながりができるのではないかと。(清水委員)
- ◆子供と保護者の意思疎通が十分でない家庭が多いように感じる。昨今、他学年間での交流が少なくなっており、「地域で子供を育てる」ということをさらに考えていく必要がある。(伊藤文雄委員)
- ◆発達支援学級の子供たちが通常学級の活動へ参加することは、保護者の安心にもつながるだろう。30分間回泳に際しては、親子共に不安感を持ってしまう家庭が少なくないと思うが、大学生の方から教わることであれば、双方に良い機会になるのではないかと。(渡邊委員)

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

教頭より、別紙資料「浜松市立瑞穂小学校いじめ防止基本方針」に基づき説明があった。以下のとおり、委員から様々な意見があった。

- ◆子供は気持ちをストレートに出すことが多く、それが子供の自然さでもある。その全てを失わずにリードしていけたら良いだろう。子供の貧困問題がいじめにつながる場合もあるが、家庭の問題にどう関わっていくことができるのか。(伊藤会長)
- ◆暴力だけでなく言葉も人を傷つける。そういうことが格好悪いという雰囲気ができると良いだろう。相手を思う心が育ってほしい。(佐々木副会長)
- ◆初めは「いたずら」のような悪意がない場合も、それが発端となり攻撃的な行動につながることもある。学校だけでなく家庭、地域全体で取り組む必要があるだろう。(伊藤文雄委員)(村松委員)
- ◆いじめは目に見えるものばかりではなく、子供自身が感じた「違和感」を誰かに伝えられる環境が必要だろう。学校だけでなく、家庭や地域全体でもその役割ができると良い。(渡邊委員)
- ◆上級生や下級生の関係性があると、そこから学び合えることもあると思う。そういった交流の場があるのも良いだろう。(藤原委員)
- ◆道徳の授業で「色々な考えがあって良い」と学んだ子供もいる。子供たちそれぞれ何が響くかはわからないため、様々な機会を大事にしてほしい。(鈴木委員)

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業予算について説明があった。昨年度に続き、本校ボランティア団体「花の会」の活動における必要物品等の購入と、心の教育として特別活動で子供の活躍の場をつくり、自分らしさを

発揮するための、児童会活動への算出を計画するとの報告があった。

その他報告事項等

① 学校支援コーディネーターから

・藤原四郎学校支援コーディネーターから、ボランティアについての報告があった。

【花の会】

ボランティア募集により、30名弱の方に集まっていた。今年度も昨年同様御協力いただきながら、活動していきたい。

また、地域からの支援により、12月に防災隊による防災体験を計画している。

・鈴木里佳学校支援コーディネーターから、ボランティアについての報告があった。

【図書ボランティア】

サンタのへや（読み聞かせ）のボランティアが不足している。毎年募集をしているのだが、なかなか集まらないのが現状である。今後は募集範囲を、保護者だけでなく地域の方にも広げることができれば、もう少し人数が集まるのではないか。

【クラブ活動】

それぞれの活動に地域の方の御協力をいただいている。多くの方の御協力により、活動の種類が増えてきている。地域の方の中に、特技をお持ちの方がいれば、情報提供していただきたい。

②司会の教頭より、次回の協議会は7月3日（木）13：30からCSルームで開催する旨説明があった。

以上